

会の趣旨

これからの算数・数学教育を考える会は、京都府・市を中心に広く近畿圏の方々と、算数・数学教育のあり方について議論・交流する会です。

日頃の学校現場での算数・数学の授業実践を持ち寄り、指導の改善につなげたり、新しい教育内容・方法の考案・検証を行っていくことを目的としています。

算数・数学教育に関心のある先生、教員を目指す学生・高校生、一般の方々のご参加をお待ちしています。

日時

2020年1月10日（金）

18：00～19：00 事例発表

19：00～19：30 教育最新事情

プログラム

18：00～18：30 事例発表 1

数学教育における領域間の接続を意識した実践事例

藤本卓也（京都教育大学附属京都小中学校）

18：30～19：00 事例発表 2

主体的・対話的な活動のための教師のアプローチの在り方

橋本滉生（京都市立西陣中央小学校）

19：00～19：30 教育最新事情

小学校算数と中学校数学をつなぐ「数から文字へ」

黒田恭史（京都教育大学教育学部数学科）

場所

京都教育大学 藤森キャンパス

1号館 A棟 2階 A3教室

対象

小・中・高等学校教員、学生・高校生、一般

※参加費無料・事前申し込み不要

問い合わせ

黒田恭史（京都教育大学教授）

ykuroda@kyokyo-u.ac.jp

第7回

「これからの算数・数学教育を考える会」